

もっと自由に、ふたりらしく

N.Y.発 Stylish WEDDING



世界のトレンドの先端をいく街ニューヨーク。ここで求められるのは、大人の女性の感性。個性を求めるニューヨーカーらしく、場所も演出もより自由に、二人を物語るウエディングスタイルを大事にする。そんなNY流ウエディングの最新トレンドをトップウエディング・プランナーから教えてもらった。

composition&text: Eri Kurobe design: Shiro Hamamoto

1



Wedding Site



1 池に沿って設置されたオープンエアの披露宴会場からはマンハッタンを望むことができ、美しい映画のワンシーンのよう
2 披露宴会場に選んだのは、セントラル・パーク内にある動物園。このカフェテリアは場所を借りられるので、デコレーションから料理までフェティが担当した。有名なケータリング会社による都会的なメニューを提供
3 ケイティさんは公立校で障害児教育に携わる教師、ジョージさんは証券マン。教会の式では薔薇の花をそれぞれの母親に渡して感謝の気持ちを表す儀式を盛り込んだ。これはアメリカの結婚式にはめずらしいアイデアで、愛情溢れる二人ならではの
4 結婚式はユニテリアン教会にて、女性の司祭を頼んだ。自由を愛する二人の気質が表れている。音楽好きの二人はハーレムからゴスペル合唱団を招く演出を
5,6 絵本の「いたづらごさる動物園に行く」をもじった二人のミニアルバムが配られ、写真を楽しく眺めるゲストたち。動物園にちなんだ、かわいらしく愛情溢れるアイデア。二人はまたASPCA(アメリカ動物虐待防止協会)に寄付をして、ゲストには愛犬のチワワの



a Wedding in N.Y. ニューヨークのセントラル・パークで 行われたウエディングに密着!

「いい結婚式とは、二人を物語るものです」

こう語るのはFÊTE(フェティ) NYのジョシュさん。フェティはNYのトップウエディング・プランナー集団だ。それだけに依頼するカップルは富裕層ばかりで、花嫁の趣味も洗練されている。ここでご紹介するケイティさん(28歳)とジョージ・ハリバーさん(29歳)は交際して3年。ジョージさんが部屋に薔薇の花を敷きつめてプロポーズをしたとか。夫妻の希望は、二人が暮らすNYらしさを感じさせるもの。そこで選んだのはセントラル・パーク動物園。カフェを美しい披露宴会場に仕立て上げた。緑に囲まれ、その向こうに摩天楼がそびえるロケーションは、都会のお伽話のよう。さらに随所に動物園のテーマを散りばめたアイデアから、カップルの温かい人柄が伝わってくる。「10年後に誰もが覚えているのは、卓上の花の色ではなく、いかに楽しかったかという記憶なんですよ」とジョシュさん。より自由な発想で、ふたりらしさを表現するNY流の結婚式を追った。



Seating Chart

9 アメリカの披露宴でセンスが問われるのがゲストの席を示す席次表。ケイティさんたちの式では動物園の入口に、ゲストを迎える木が置かれた 10 木からはゲストの名前と席順を書いた緑のカードが葉のように下がっていて、ゲストはおののカードを取って席に着く仕組み。動物園という設定に木を合わせてナチュラルさを演出したアイデア。ちょっとした驚きを生む演出がゲストにとっては楽しい思い出として心に残る。招待客は185名



10



Lounge Space

7 アメリカの結婚式では食事のあとにダンスを楽しむ。ケイティさんたちは音楽にこだわり、ビッグバンドを招いてファンクからR&B、ヒップホップまでの曲に乗って、朝までダンスを楽しんだ 8 そしてポイントは別にラウンジスペースを設けていること。最近のゲストはあらかじめ決められた席にずっと座るのを退屈に感じる。他の人と自由に交流できるラウンジスペースを設けることが自由に楽しめるパーティを成功させる鍵と、ジョシュさんは説明する



8



14



15



13

13 ユニテリアン教会にて、女性司祭に司ってもらって挙式を。ケイティさんのウエディングドレスはキャロライナ・ヘレラのもの。ブティックで最初に着たとたん、ひとめ惚れした一着。NYではストラップレスのスタイルがいちばんの人気。花婿のジョージさんはバーバリーのタキシードで 14 ブライズメイズの三人はヴェラ・ウォンの深いバイオレット色のドレス 15 ケイティさんのヘアスタイルはゆるやかに結ったアップで、そこにダイヤモンドのヘア飾りをつけている。結婚式には古いものと借りたものを身につける伝統にあわせて、お母様お祖母様ゆかりの宝石類を借りた 16 靴はマノロ・ブランコで。式用の純白の靴と、披露宴用のシルバーの靴の二足を揃えた



16



Table Decoration

11 池に面したカフェに長いコンピューターテーブル(ひとつにつながった卓)を置いたセッティング。シャンデリアや燭台もすべてフェティが持ち込んでデコレートしたもの。卓上の花は控えめに、ガラスのシャンデリアと燭台がデコレーションの主役になっているあたり、NYらしい都会的なセンスを感じさせる 12 テーブルセッティングもブラックのグラスやリボンをあしらって、甘くなりがちな飾り付けを、モダンでスタイリッシュに仕上げている



11

photographs: Christian Oth Studio
<http://www.christianothstudio.com/>
問い合わせ: 212-634-7949

今回ご紹介するNYスタイルウエディングの写真はクリスチャン・オス・スタジオのもの。全米トップ10に数えられる。所在地:307 Seventh Avenue 19th Floor, NY, NY10001



Wedding Site

博物館や図書館など
意外なロケーションがイン

「最近のトレンドは、まず意外性のあるロケーションですね」とジョシュさん。NYではホテルでの披露宴よりも最近はそのカップルらしさを出せる式場が人気になっている。驚くことに博物館や図書館など、多くの公共施設が借りられるのだとか。「かつて銀行や教会だった古い建物も歴史を感じさせるので人気ですね」。画一的な場所よりも、より自分たちらしさを表現できるロケーションがスタイリッシュなウェディングの第一歩となる。



2

3

ニューヨークで今流行りの
ウェディングトレンドをもっと紹介

1 古い教会だった建物で行われた披露宴。高い天井と厳かな雰囲気は、ふつうの披露宴会場では味わえないもの。背の高いキャンドルが美しい 2 NY郊外にあるハドソンバレーにて、屋外の結婚式と披露宴を。豊かな緑のなかで誓う愛は、どこまでもピュアに永遠のものとなりそう 3 こちらはNY市立図書館。映画「SATC」でも理想の披露宴会場として出てきたほど、NYでは花嫁たちの憧れの的。有名な図書館の外階段に小さなキャンドルを山ほど飾り付けたデコレーション。まさにお伽話のウェディングだ 4 映画「ナイトミュージアム」の舞台となったアメリカ自然史博物館も披露宴用に貸し出しを。こんな楽しそうな結婚式なら誰もが呼ばれたいはず



Lounge Space

ゲストたちが自由にくつろげる
ラウンジスペースを用意して

「私たちがパーティ会場を設置する時に、必ず入れるのがラウンジスペースです」とジョシュさんは言う。ふつう結婚式では決められた卓に着くものだが、最近のゲストは隣席の人としか話せないのを堅苦しく感じるのだとか。そこで自由に座れるラウンジスペースを設けておくと、ゲストたちは好きにお喋りできるのでくつろぎやすい。「ゲストの身になってもてなすことが大切。おもてなしの仕方こそ、新郎新婦の人柄が表れるところですね」

Saladyga, Gruber photographers

5

5 こちらは写真スタジオを借りて行われた披露宴のラウンジスペース。お店のように見えるが、この日のためにセッティングしたもの。バーカウンターのすぐ前に設置されていて、飲みながら話したい人たちにうってつけ。結婚式というよりも、セレブのパーティを訪れたような雰囲気で、最近のパーティ慣れしているゲストたちには人気が高い 6、7 ハドソンバレーにテントを張ったパーティ会場を作り、そこにもこんな優雅なラウンジスペースを設置。気持ちよい風を感じながら、くつろげる。こうしたラウンジスペースがあれば、シングルのゲストたちにとっても新たな出会いの場となるので、楽しみやすい。花嫁花婿も自由に交じって話せるのが魅力



6



7



アメリカでももちろん結婚式は花で飾るのが伝統になっている。けれども最近の花嫁はより洗練されて、モダンなスタイルを好むそう。「花の代わりにグリーンを使ったり、燭台やシャンデリアを主役にしたリ、建築的センスを持ったデコレーションがトレンドですね」とジョシュさん。キャンドルも人気が高く、間接照明とキャンドルの光のあしらい方が洗練された雰囲気を醸し出している。NYらしい都会的で大人のテイストの飾り付けをぜひ参考にしてみたい。

8 NY市立図書館で行われた披露宴のテーブルセッティング。長いコミュニティテーブルを使い、格調高い雰囲気でまとめている。花のあしらい方も、甘くならず大人のテイストを感じさせる。9 屋外にテントを張って会場にしたもの。テーブルセッティングはキャンドルの灯りを中心にしている。この設定にふさわしい、クラシックさと温かみのある雰囲気を醸し出している。10 この結婚式はオペラハウスを借りて行われたもの。前面のプロジェクターに映っているのはNYの光景。そして各テーブルには大きな花瓶に大ぶりのカラー・リリーが、斜めに生けてあるセンスが都会的でスタイリッシュ。モダンなスタイルのデコレーションだ。11 こちらは大きな桜の枝がデコレーションの中心になっている。よくあるようなアレンジメントフラワーではなく、桜を枝ごと飾りつけてある大胆な生け方が、美しいバランスを生んでいる。

Hospitality

ゲストをもてなすホスピタリティが二人らしい演出となる

「ゲストを徹底的に甘やかすのが、私たちの流儀です」と笑うジョシュさん。例えば子ども連れのテーブルにはクレヨン置いてあげる。そんなちょっとした心遣いが、ゲストには嬉しいものであり、ゲストのもてなし方に、自分たちらしさが表れるもの。おもてなしの心こそ、いい結婚式の鍵といえる。

テーマにあわせてアイデアに富んだシーティングチャートを

ゲストの席を知らせるシーティングチャートはウエディングプランナーの腕の見せどころ。ご覧の通りフェティではさまざまな演出をする。レモンからプロジェクターにいたるまで、新鮮なアイデアがいっぱい。「ウエディングのテーマにあわせるのが大事ですね。といってもテーマの色を決めるとか、全部に同じモチーフを使うことではありません。細部にこだわりのみながら、全体の雰囲気をまとめあげるとするのが洗練させるコツです」とアドバイス。

Seating Chart



16 NY市立図書館で行われた披露宴会場には、トビアリーで作られた熊の置物が。これはカップルの好みにちなんで制作されたもので、二人の個性を表す飾りつけが、ゲストにとって話をするポイントとなる。17 ゲストに配るちょっとしたプレゼントがウエディング・フェイバー。この結婚式では家族が作っている蜂蜜をフェイバーにした。その家族らしいもてなしで、心温まる引出物となる。18 子どもが座るテーブルに置いてあるのはクレヨンと紙。結婚式には子どもがつきものなのに、意外とそのケアを忘れていたもの。こんな小さな心遣いが、ゲストにとってはありがたい。呼ばれた側の立場に気配りできる新郎新婦こそ、最もいいホストだろう。



About FÊTE *Special Thanks* NYのトップランクにある ウエディングプランナー

今回のウエディング写真は、すべてフェティが手がけた結婚式。ジュンさんとジョシュさんが率いるフェティは企画からイベントまで手がけその洗練されたスタイルで、NYのトップウエディング・プランナーとして名高い。
所在地: 419 Park Avenue South, Floor 4 NY, NY 10016
TEL: 212-725-7268 URL: <http://feteny.com/>